

3.内外の多様な主体との連携・協働

(1)域内における連携の輪作り

- ・地域総出の魚道作り

- ・集落内の住民と共に子ども会、営農法人、土地改良区、婦人会、老人クラブ等の地域内諸団体が参加して実施



・地域一斉清掃

- ・毎年7月の第1日曜日、集落総出による^{えちがわ}愛知川堤防や集落内共用の道路・水路法面の草刈りを実施
- ・毎年8月15日、農道、集落道、市道を対象に、大人と子どもが共にゴミ拾いを実施



(2) 域外の多様な主体との連携・協働

- ・平成23年から米作りオーナー制度を取り入れ、企業・大学、近隣の家族等の水田オーナーを対象に、連携・交流を進めている
- ・田植え・稲刈り、生き物観察会等の体験、地域住民等との交流活動の場の提供



・社員食堂・学食での「魚のゆりかご水田米」の提供



・企業からプラスチック生産物の端材提供を受け、魚道の資材として活用



〈参加者数の実態〉

米作りオーナー

平成23年制度開始時

4家族参加

平成30年

4団体5家族参加

田植え、稲刈り体験参加者数

平成25年 50人

平成29年 150人(30年は雨天のため中止)

生き物観察会参加者数

平成25年 80人

平成30年 250人

・田植え・稲刈り、生き物観察会のあとは、釜で炊いた「魚のゆりかご水田米」のご飯を食べながら地域住民等との交流活動を実施

→地域の子ども達やその親世代に、食と農への関心を高めてもらい、環境保全の意識の向上へつなげる



・首都圏中学生への農作業の提供・交流

- ・中学生を農家民泊として受け入れ、田植え、野菜の収穫等農作業体験の提供
- ・琵琶湖の葎(よし)の葉による粽(ちまき)作り体験の提供を通じた、古来の滋賀の食文化の県外発信

〈農家民泊の実績〉

年度	対 象	受入人数
H26	千葉県船橋市(中学生)	39人
H27	神奈川県横須賀市(中学生)	40人
H28	神奈川県横須賀市(中学生)	40人
H29	神奈川県横須賀市(中学生)	38人
H30	神奈川県横須賀市(中学生)	37人

〈粽(ちまき)作り〉

